

広島県 高P連会報

No.184

発行所／広島市中区八丁堀11番28号
朝日広告ビル4F
広島県高等学校PTA連合会
電話／(082) 223-3347
FAX／(082) 223-3351
URL／<https://www.hiroshima-koup.org/>

令和7年度 国公立大学進学説明会

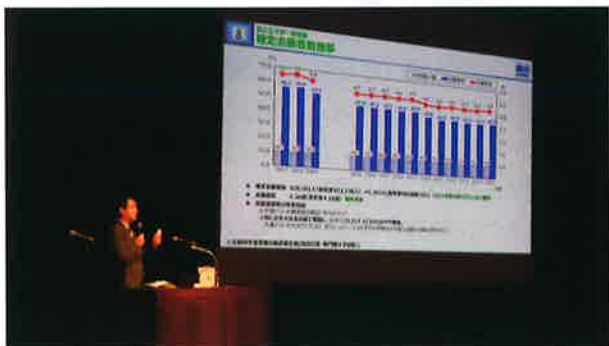
とき：令和7年8月9日（土） ところ：広島県民文化センター ホール

本年度の進路対策委員長を務めさせていただいております広島県立廿日市西高等学校 PTA 会長の鈴木理衣奈と申します。

国公立大学進学説明会におきましては、司会・進行役を務めさせていただきました。

本年度の国公立大学進学説明会では、より多くの保護者様の参加を可能とするとともに、この説明会に関心を持たれている保護者様に幅広い形でご参加いただけるように、昨年度に引き続きオンラインを含めたハイブリット開催といたしました。

本説明会は、広島県高等学校 PTA 連合会会長 藤原みどりの挨拶、予備学校のご講演、国公立大学の学校説明会の順に執り行われ、学校法人駿河台学園 駿台予備学校広島校校舎責任者 西田甫貴様からは、「親子で乗り切る大学入試」と題しまして、ご講演をいただきました。



最新の入試情報のみならず、近年における受験の内容、受験に対する心構え、模試の見方、親としての子供への接し方など、受験生や保護者の皆様が受験を含む進路設計に向き合う際に、疑問や不安に感じられていることなどについて幅広く細やかにご講演をいただきました。

続いて行われました国公立大学の学校説明会では、海上保安大学校、福山市立大学、尾道市立大学、県立広島大学、叡啓大学、広島市立大学、広島大学、

の7校が、学長、副学長、学部長の方々にご登壇いただき、各学校の教育方針や特色には教育への情熱を込めた力強さをもって、また受験要項などについては丁寧にわかりやすくご説明いただきました。



保護者の皆様方も、時折相槌を打ちながら熱心に話に耳を傾けメモを取られている様子が各所に見受けられ、本説明会の開催意義を強く感じることとなりました。

学校の情報の一つ一つを各人の手で調べることは決して簡単なことではありません。昨今ホームページやSNSなど、情報は余る程溢れてはいますが、保護者の皆様や生徒さんが本当に必要とする内容やその真偽などを精査しながら集めることは容易ではありませんし、また入試に関わる重要な情報もまた、どれだけ書面に纏められていても簡単に理解できるものではありません。ましてや、お仕事や家庭の用事の合間を縫ってとなれば更に大変な作業となることでしょう。そうした中、予備学校や大学などから直々に説明を受けることで、基本情報から受験要項までしっかりと理解を深められる良い機会になったと感じています。また、資料やネットの検索では決して知り得ない詳細もお話いただき、より充実した時間となりました。

進学には何を学ぶかも確かに大切ですが、学生生活を通してかけがえのない友人を作り、様々な体験をする中で人として成長する場でもあります。

その学び舎が持つ雰囲気を知ることも進路の選択にはとても重要なファクターです。お話を聞く中で各大学の受験情報だけでなく、その学校の持つ空気感や熱気も知ることができ、果たして子供の興味と引き合うのはどういう大学だろうか、子供の描く夢や未来を実現するためにはどの大学が良いのかなど、より具体的に考えるための情報を手に入れることができたのではないかと思います。

説明会后、例年に習い国公立大学進学説明会に対してのWEBアンケートを実施させていただきました。その回答では、100%の方が進学に向けて参考になったとお声をいただきました。また、回答をいただいた6割以上が1,2年生の保護者様であり、来年・再来年に向けて早め早めの情報収集をされていることがわかり、そのほとんどの方が、来年度の進路説明会にも参加の意向があることがわかり、保護者の皆様の受験に対する関心の高さを改めて感じることでなりました。実施方法については、「会場のほうが頭に残り（入り）やすい」「アーカイブ配信だと後回しになって結局視聴しないことになる」などの理由から会場参加希望者と「スケジュール調整が難しい」「アーカイブを自分のタイミングで視聴したい」「気軽に視聴できる」「遠距離」などの理由からオンライン参加希望の方もおられ、ハイブリット開催の有効性を確かめることもできました。

この度のアンケートにも多くの皆様に御協力を賜り、貴重な御意見を沢山いただき心より感謝いたしております。アンケート結果をもとに、来年度以降の国公立大学進学説明会が、生徒と保護者の皆様にとってより有意義な内容となるように、今後もより柔軟に対応しアップデートしていきたいと考えております。

なお、運営に携わっていただきました広島県高等学校PTA連合会の役員・事務局・進路対策委員の皆様には事前、並びに当日朝早くからの準備、開催中の参加者様の対応や終了後の後片付けなど、多岐にわたり大変お世話になりました。お忙しい中にも関わらず、御協力くださいましたお陰で、無事国公立大学進学説明会を終えることができました。誠にありがとうございました。

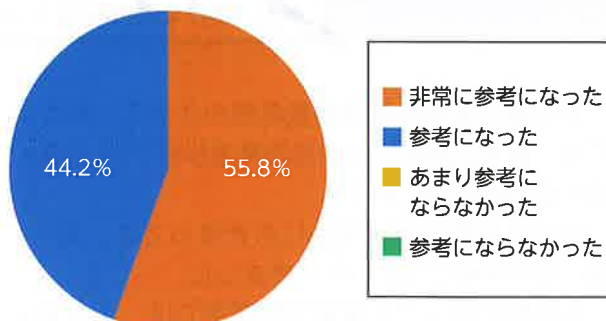
今回の国公立大学進学説明会を終えて、運営側の反省点といただきましたアンケート結果をもとに、来年度よりよい説明会が実現できるよう尽力して参りたいと思います。

(進路対策委員長 鈴木理衣奈)

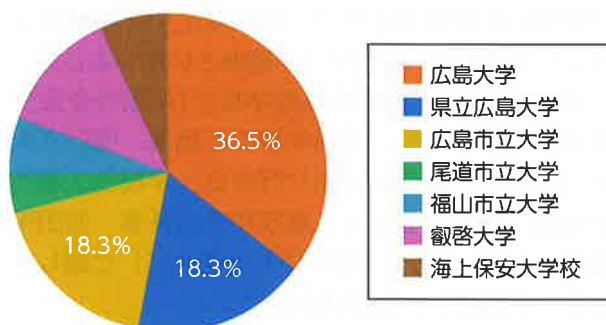
令和7年度国公立大学進学説明会 アンケート結果

会場参加者数 170 人
オンライン参加者数 1600 人
アンケート回答数 105 件
アンケート回答率 6%

Q1 この度の進学説明会はお子様の進学に向けて参考になりましたか？



Q2 どの学校の説明に興味を持たれましたか？



Q3 Q2 で選択された理由をお聞かせください。

- 志望校であるため 関心があったため
- オープンキャンパスに行ったことがあり、興味がわいたから
- 色々な興味、可能性に魅力を感じたから
- 入試内容が変わってきたり、新しい情報が得られたから
- 学校の方針に興味を持ったため
- 国立大学で地元の大学に行きたい魅力があるから。
- 寄り添った説明だった
わかりやすい内容だったため

Q4 来年度の進学説明会には参加されますか
参加したい 63.5%
参加しない 36.5%

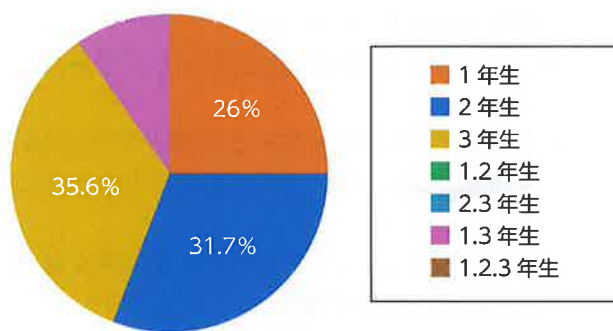
Q5 Q4 で選択された理由をお聞かせください
(参加したい理由)

- 入試は毎年変化があるので、最新の情報、最新動向が知りたいから
- 教育に対する親としての心構えを再確認させてもらえるため
- 子どもとも共有することができるため
- PTAに入っているのだから利用したい
- 一度に沢山の学校の説明を聞くことができるオンラインでの参加が手軽だったから

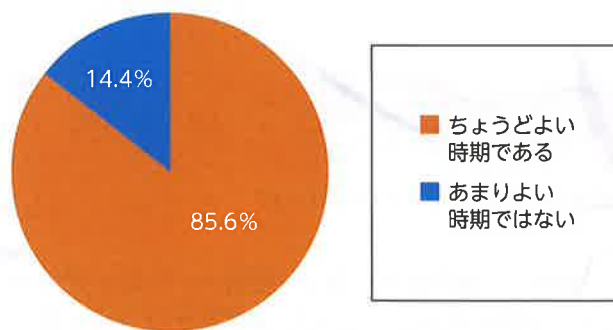
(参加しない理由)

- 我が子は、受験生でないのですみません
- 遠距離なのでオンラインで参加したい

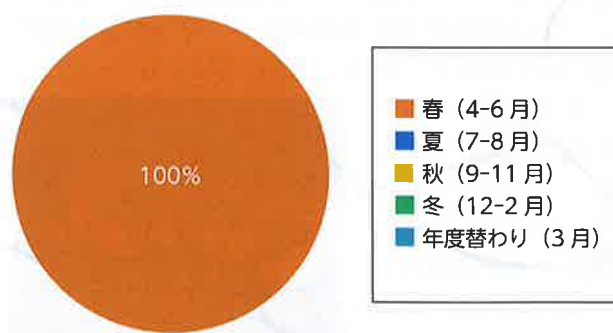
Q6 現在のお子様の学年をお聞かせください



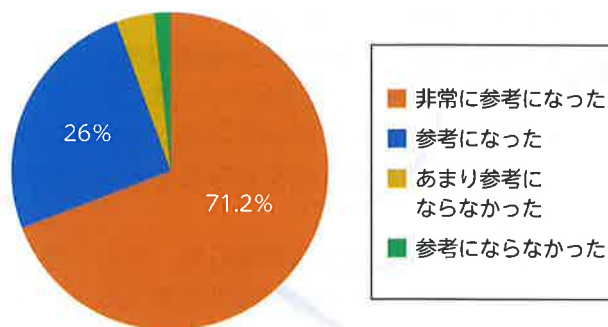
Q7 開催時期についてお知らせください



Q8 Q7 であまりよくないと回答された方へ最適に思われる時期を教えてください。



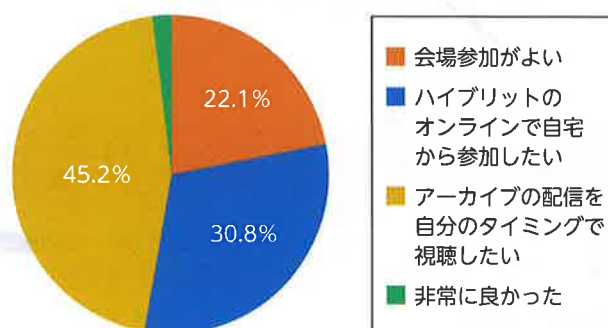
Q9 学校法人駿河台学園 駿台予備学校広島校の講演は参考になりましたか？



Q10 Q9 で選択された理由をお聞かせください。

- 親の子供に対する接し方等勉強になりました
- 具体的で分かりやすい説明だったから
- 親としての声掛けの部分
- 高校での講演とのまた違った見方を体験できました
- 全員全入時代、第一志望をあきらめない…強い気持ちで受験に臨ませたいと思えたので
- このレジュメを見せて危機感を持たせられると思った

Q11 昨年度からオンラインを含めたハイブリット開催となっております。感想をお聞かせください。



Q12 Q11 で選択された理由をお聞かせください。

- まとめての時間を取ることが難しい場合はアーカイブで分割して視聴できる
- 仕事と重なると 自身のタイミングで視聴出来るのはありがたい
- オンラインよりきちんと時間をとって深く聞けるため
- 会場に行けない場合もあるのでオンライン併用だと助かるため
- 会場参加したが、登壇者の方々のエネルギーが感じられてよかった
- 会場で聞いたほうが頭に残りやすかった

Q13 全体を通してご意見・ご感想をお聞かせください。

- 非常に参考になりました
- 子供がやりたい事学びたい事を積極的に選べるようサポートしてあげたいと思いました
- 選択の多様性と、自分達が通って来た受験とあまりにも違う価値観を変えないと思いました
- まとめて大学の内容を知れて、そして予備校の教師からのお話も聞けてモチベーションアップにも繋がるととても素晴らしい内容でした
- 変化する入試、大学の特性、求める学生像が知れて良かったです
- 全体的にスライドを通してわかりやすく、休憩時間が挟まれているのが、集中力を保つのに助かった
- いろんな大学の情報を1日で得られて、比較したり参考にしたりなど受験生の親がしっかり学べる時間になりました
- 子供の興味のある学部しか調べることがないが、いろんな大学・学部のお話が聞けてよかったと思います
- 駿台予備学校の資料もダウンロードできるとよかったです

- 進学希望ではない大学の説明を聞いて選択肢が広がったことや、大学入試についての情報を詳しく知ることができて有意義だった
- 私が大学受験を経験していないため、知らないことが多いので子どもの受験に向けて理解が深まりました
- こういった講演会を開いていただき、受験生でなくとも参加できることをありがたく思いました。強いて言えば、説明される大学の順番がわかりやすければと思います。ありがとうございました
- ハイブリッド開催いただいたこと、ありがとうございました
- 大学の情報を得ることができる有意義な時間になりました。また来年も参加したいと考えています
- コンパクトに説明がまとまっていて分かりやすい
- ズームでの参加ができるのがとてもよい。会場まで行くより、家で聞けるのはすごく参加しやすい
- オープンキャンパスでは聞けない色々な学校の特色が聞けて良かった
- どの大学もとても興味深かったです。在学生の声も聞いてみたいです

第74回全国高等学校PTA連合会大会三重大会

とき：令和7年8月21日（木）～22日 ところ：日硝ハイウェイアリーナ（サオリーナ）

【大会1日目】

令和7年8月21、22日の二日間、第74回全国高等学校PTA連合会大会2025『三重大会』が開催され、全国より約6000人の会員が参集。



場所は三重県津市にある「日硝ハイウェイアリーナ」（以前の名称は、レスリングでオリンピック3連覇を果たした吉田沙保里さんが名付けた「サオリーナ」）、非常に大きく綺麗な屋内総合施設。開式前のざわつく雰囲気の中、最初のアトラクション、四日市商業高等学校ギター・マンドリン部の皆さんの演奏で空気が一変し、美しいハーモニーに包まれて一気に耳を傾けるモードに突入、そのまま開会式へ。その式上での式辞の中で全国高等学校PTA連合会・田名部智之会長が、昨今



のPTA 不要論に触れ、「今こそ全国高校 PTA 会員 190 万人の団結力と原動力を繋げていくことが大事」との一言が非常に印象的であった。閉式後は各分科会会場に分かれて、それぞれに研修を受ける。

なお、各分科会テーマ（サブテーマ）は以下のとおり。

第1分科会「子育て、そして親育ち」～言葉の力を磨き、子どもの心の声を聴こう～

第2分科会「実力発揮のコツ」～無名野球部2校を甲子園に導いた元監督が伝授！～

第3分科会「AI 時代における Well-Being なキャリアデザイン」～青春期における感情・感動体験の重要性～

第4分科会「Let's PTA !」～これからの PTA 活動を考える～

各テーマ全てに魅力を感じつつも私共の学校は第4分科会へ。

講師はレモンさんこと山本シュウさん（以下レモンさん）。本業はラジオ DJ ながらも NHK E テレの番組を 15 年勤められるなどマルチに活躍され、御自身も PTA 会長、顧問を務められた経験から年間約 50 本、600 回を超える講演会をされている知る人ぞ知る凄い方（私は存じ上げておりませんでした・・・スミマセン）。

司会者の講師紹介と共に会場後方から突如姿を現したレモンさん。「We are シンセキ（親戚）！」の合言葉を会場全員で唱和し、

さすが DJ と思わせる巧みな話術から繰り出される生理学、心理学を用いた豊富な言葉の数々、そして何よりも御自身の貴重な経験談で爆笑から爆笑。その合間も感嘆の「へ～」が思わず何度もこぼれる。見た目のインパクトもさることながら、それ以上に言葉の節々に垣間見られるそのお人柄に引き寄せられ、気がつくと言った間に研修終了。

さて、その内容は、奇しくも開会式で田名部会長が触れた PTA 不要論について。

「明治維新によって時代が変わり廃刀令が出され、誰が何と言っても持ってはいけないものは持ってはいけないとなったように、今時代は変わり、昭和のままのような強制的思考の PTA は通用しないし、そのままでは不要論ともなる。埋め込まれ

てある昭和チップを捨てること。」「PTA 加入、役員強制はせず、何故入りたくないのかその答えを探ること。すると、その人それぞれに色々な事情があることがわかる。それぞれに事情があるのだから、『そう思うことにしとく・・・か！』という私得力（しとくりよく）（レモンさん造語）を身につけることが大事。又、否定的な言葉を言われたら、『でもね・・・』とこちらも否定的な言葉で返すのではなく、『そしたら・・・』と受け流す力、除身力（よけみりよく）（レモンさん造語）を発揮することが大事。『でもね』から『そしたら』に変換するだけでも相手を肯定して人間関係が良くなる。ただ本当に大事なことは一つだけ『楽しい PTA を作ること。』」

「幸せの三条件。1・食べ物がある 2・仲間がいる（繋がりがあがる）3・笑いがある。PTA においては、仲間と笑いが大事。極端な部分だけメディアがクローズアップして PTA 不要論が取り上げられるけれど、PTA の必要性をわかっていて頑張ってくれている人達、仲間、味方がこんなにもいる。We are シンセキ！」

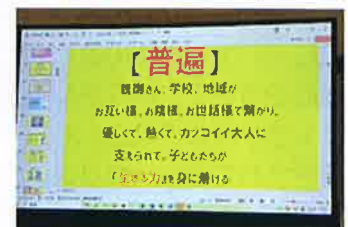
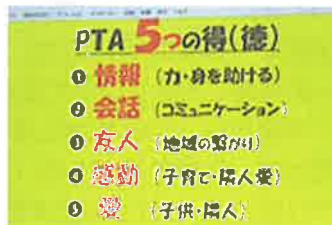
「PTA 不要論は、極端な話。勿論不要そうな PTA は即改革して、新たな組織をビルドアップして、その『普遍』を守る活動が大切。今日も学校に通う子供たちがいるのが現実。何があっても守らないと！」等。

「何を学ぶか？」より「誰から学ぶか？」の大切さを痛感させられたと共に、改めて沢山の仲間たちと

一緒に今現に PTA 活動ができている幸せを噛みしめさせてもらえた二時間であった。恐らく第4分科会研修者の殆どが、僅か二時間なれど、この研修が今後の PTA 活動だけでなく、これからの人生の歩みにも大いに役立つであろうと感じた貴重な時間になったと思う。

最後に、このような素晴らしい機会を恵んでくださった関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

（調査広報委員 長岡正信）



PTA功労表彰の御紹介

第74回全国高等学校PTA連合会大会三重大会では、永きにわたりPTA活動に御尽力いただきました次の皆様が御受賞されました。

令和7年度優良PTA文部科学大臣表彰

広島県立安古市高等学校 PTA
広島県立世羅高等学校 PTA

第74回全国大会会長表彰 団体

広島県立高陽高等学校 PTA

第74回全国大会会長表彰 個人

古田健治 広島県高等学校PTA連合会前副会長
(広島県立西条農業高等学校元PTA会長)

末政 愛 広島市立美鈴が丘高等学校 前PTA会長
高橋佳裕 広島県立福山商業高等学校 前PTA会長

御受賞おめでとうございます。

受賞されました皆様に感謝申し上げますとともに、心よりお祝い申し上げます。
(県高P連事務局)



【大会2日目】

大会2日目はメインアリーナで三重大立相可高等学校食物栄養科の皆さんの紹介動画から始まりました。三重県のほぼ真ん中にあるという相可高校は令和9年に創立120年を迎える歴史ある学校で、食物栄養科は在学中に調理師免許を取得でき、卒業後はプロの料理人に・パティシエの道に進むそうです。高校生レストラン『まごの店』も運営されており、クリスマスケーキやお節の製作や販売で奮闘する姿をまとめた動画を拝見しました。同じ高校生を持つ親として、食物栄養科の皆さんの目標を持ち頑張る姿を見て、目頭が熱くなりました。三重大会にもお弁当販売で参加されており、昼には行列ができていました！これからの皆さんの活躍を広島から応援したいと思います。そして記念講演は、あずきバーなど多くのロン



グセラー商品をもつ井村屋グループの福井営業所の経理事務アルバイトから会長までキャリアを築いてきた、井村屋㈱代表取締役会長CEOの中島伸子氏に『尊厳は明日の力』～壁を開ける手中の鍵～の演題でお話しいただきました。

中島氏は『こどもはたまたま私の元に生まれただけで、世界の子どもの1人であり未来からの授かり物。だから社会に出すための責任があると思ってきた』と、苦しい経験と仕事、3人の子育ての中でどうしてこう思うようになったかを伝えてくださいました。

新潟で生まれ福井県で育った中島氏は高校の教師になる夢を持っていました。大学在学中に実家で自身の誕生日のお祝いのため夜行列車に乗った際、死者30人・負傷者700人の甚大な被害を出した北陸トンネル火災事故に巻き込まれます。九死に一生を得たものの、列車で同席していた人から避難を託された子どもの命を助けられなかったことの後悔と無念、教師への夢が破れた喪失感で「どう生きていくか」悩み苦しんでいたとき『『辛』に一を足せば、『幸』の文字になる』という父の一言に救われた」とそうです。

その後、事故の後遺症で声帯が麻痺し一時は声がほとんど出なくなり教師の道を断念。

実家の近くにあった井村屋で経理のアルバイトをはじめます。当時は女性が仕事を続けるのも難しい時代でしたが、業務は経理だけでなく4トントラックでの配送もされていたそうです。そんな中25歳の時に正社員登用試験を受け見事社員採用されます。何事もひたむきに一生懸命やる。そして新しいことにチャレンジしていく中島氏は、仕事でもどんどん新しいものを取り入れ学び、女性では珍しい営業所長へ抜擢されます。しかし営業先では女性であることを理由に会社にも入れてもらえない。帰り道に涙することもあったが、営業先で質問された井村屋の株価でさえ答えることができず自分に足りない学びがあることに気づいたそうです。そこからは経済を学び、営業先での声が出ないハンデを乗り越え、営業部門のトップに上ります。その後も企業人として常に学び続け北陸支店長→取締役と着実にステップアップし、社長・会長に就任。

まだ働く女性が少なかった時代から営業職や長期の単身赴任に挑み、アルバイトから会長になる現在までのキャリアを築いた中島氏の講演は終始穏やかな語り口調でしたが、トンネル火災事故以来、一度もなにかを楽しんでいたことはない



そうです。女性だからこそその困難も多々あったが、列車事故で亡くなった人たちに思いを馳せて乗り越えてきたことが感じられました。

PTAのみなさんに伝えたいことは、子育ても周りと同じことをやっておけば無難という考えは、新しい芽を摘むことになりかねない。自由でのびのびとした発想のチャンスを与えて、世界の子どもを預かっている・支援し、みんなで可能性を伸ばしていった欲しい。多様性を活かし新しい世界にバトンタッチする。

『夢はでっかく、根は深く、葉っぱ広し』

この言葉で講演を終えられました。

私たちは親として子どもの可能性を信じ、子どもを見守り続ける。でもそれだけではなく、私たちも自分自身を大切に、その姿を子どもたちに見せられているかを考えさせられました。

今大会のテーマであります、『集い、想い、継ぐ』三つの重なる明日への力。この二日間の分科会・講演会で、自分に置き換えすぐに参考にできることがたくさんありました。

このことを学校や子どもたちに伝えられるよう努力していきたいと思います。

最後になりますが、全国高等学校PTA連合会、三重大会実行委員会、またすべての関係者の皆様、素晴らしい大会を開催いただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(調査広報委員 原田 梢)

令和7年度 PTA先進校訪問

と き：令和7年9月29日(月)

ところ：広島県立世羅高等学校
広島県立戸手高等学校

少しだけ涼しさを感じられるようになった令和7年9月29日、会長、副会長、調査広報委員会の委員等、総勢7名で、先進校視察へ行ってきました。

まず1校目は、先日「優良PTA文部科学大臣表彰」を受賞された世羅高校へ訪問。大きな校舎でまず目を引いたのはたくさんのトロフィーや賞状でした。タスキの形をしている新校舎の校長室には、全国高校駅伝の優勝校しかもらえないという西陣織の美しいゴールテープがたくさん飾ってありました。

世羅高校のPTAがどんな活動をされ、今回の優

良PTAの表彰を受けられたのか、古満PTA会長から話を伺いました。まず見せていただいたのはPTA新聞です。よく見ると、会長や校長先生の写真の画素数がやや荒い…いや、これは高校時代の写真!?他の新聞では、生徒が描いた似顔絵にしてあったり、雑誌に出てきそうな校長先生と会長の対談写真が表紙を飾っていたりと様々な工夫がされています。「読みたくなる、目を引く新聞にしよう」という取り組みのひとつでした。PTA新聞は、自分の学校や生徒のいいところをしっかりアピールできる媒体です。だからこそ、生徒や保護者だけでなく、地域の方々や今後進学を考えている未

来の高校生たちに手にとってもらいたい。そのため、世羅高校さんは内容の工夫だけでなく、新聞が地域の銀行やコンビニなどにも置かれているそうです。



次に、体育祭の夕方開催について話を伺いました。近年の夏の猛暑は凄まじく、体育祭での生徒の体調不良も続出していると聞いています。そんな厳しい環境対策で世羅高校が実施されたのが、夕方からの体育祭開催でした。15時から18時半までの開催。終了時には、保護者による花火で盛り上げ。大きな変更に変なこともあったと思いますが、開始時間が遅くなったことで、これまで仕事で体育祭に参加できなかった保護者も参加でき、とても喜ばれたそうです。そして何より、生徒たちも思い出深い体育祭になったと思います。

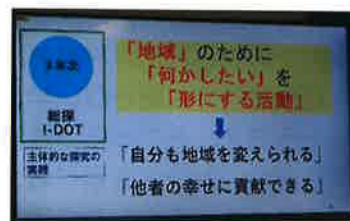
また、文化祭では、PTAとして出店するのではなく、生徒達の出店のお手伝いにPTAが参加。生徒と保護者が一緒に作り上げることで、生徒も自分の親を誇らしく思えたり、また余裕ができることで、他のクラスの出し物を見ることができるなど、どちらにとってもメリットがあるそうです。そうして、2日間で1,000人以上の方が来校される文化祭を生徒、学校、PTA一丸になって盛り上げておられるそうです。



これらの話を伺って一番印象に残ったのは、常に「生徒中心」この姿勢を示しつつ、そのために先生方、学校側の負担も軽減できるように配慮さ

れていることでした。その姿勢が、世羅高校の表彰につながったのだと実感できる時間でした。

次に、2校目の戸手高校へ移動。戸手高校は、総合学科があり幅広い選択科目があるのが特徴です。現在の高村校長先生が赴任されてから、行事で学校を活性するため、様々なリニューアルをされ生徒の主体性を大切にされています。特に興味深いのは、「地域を笑顔にする課題解決学習」「地域から学び地域に貢献する生徒の育成」として「I-DOT」という取り組みをされていることです。これは、地域のために何かしたいを形にする活動で、自分も地域を変えられる、他者の幸せに貢献できるという体験を生徒ができるものになっています。内容は、生徒がグループとなり、生徒のリーダーと学校運営協議会とで話し合いテーマを決め、地域に貢献できる具体的な企画を計画。そこに経費が必要な場合、予算請求をするため、PTA、同窓会長（兼商工会役員）、校長に向けプレゼンをするというものです。今回の視察では、この予算請求会議を見学することができました。



与えられた時間の中で、企画の目的、自分たちの思い、得られる結果、考えられるデメリット、必要な経費など、それぞれのグループがパワーポイントを使ってプレゼンテーションしていきます。プレゼンが終わると、すぐに質問が始まります。

特に、予算のところで厳しいツッコミも入り、まさにリアル「マネーの虎」状態でした。

きちんと予算請求が通りそうな内容を作り上げているチームもいれば、ぼんやりしていてこれは難しいかなというチームもあります。見学している私自身も、とても楽しく、勉強になる時間でした。相手に喜んでもらえることを、自分の特技や思いを活かし形にする。しかしそのためには、お金が必要で、出資してもらうためには相手に納得してもらえるプレゼンをしていかなければいけない。高校生の時から、これから活かせる、まさに実践学習をされているなと思いました。



このプレゼンでは、原田 PTA 会長も生徒に積極的に質問や意見をされていました。戸手高校の PTA は 3 年間で全保護者が関われるようにと 130 名の理事がおられるそうです。その中でも、できるメンバーで無理なく、しかし積極的に生徒のために様々な活動をされています。文化祭では無料

のカフェを出店されたり、卒業式でのバルーン、またオリジナル T シャツを作って、チーム感のある PTA 活動をされているのが印象的でした。

2 校の視察を終えて、強く思ったことは「子供たちが輝いている学校には、保護者、学校、地域が一丸となったサポートがある」ということです。

子供たちの人生の中のたった 3 年。ただし、その 3 年間がその後の人生の様々な岐路で彼らの支えになります。その 3 年間に PTA として関われることに、私は喜びを感じています。やはり、「良い学校には良い PTA がある」そう改めて思った先進校視察となりました。

ご協力いただいた、世羅高校様、戸手高校様ありがとうございました。

(調査広報副委員長 立岩理恵)



令和7年度 広島県大会

と き: 令和7年10月19日(日)
ところ: 呉信用金庫ホール

テーマ「楽しむ♪ ~PTAを楽しんでクレ~」

【はじめに】

秋晴れの心地よい日差しが降り注ぐ中、令和7年10月19日(日)、呉信用金庫ホール(呉市文化ホール)にて「令和7年度広島県高等学校PTA連合会広島県大会」が盛大に開催されました。

今年度の大会テーマは「楽しむ♪ ~PTAを楽し

んでクレ~」。呉鎮守府開庁以来の歴史と、瀬戸内海の美しい自然に囲まれた呉の地で、県内各地から多くの PTA 会員が集い、共に学び、語り合う貴重な一日となりました。また呉地区の皆様の温かいおもてなしの心を感じながらの開会となりました。





【実践発表：大人の背中を見せること】

大会プログラムの中で特に心に響いたのは、広島県立安芸南高等学校

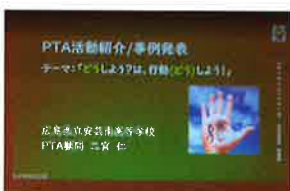
PTA 顧問の二宮仁さんによる実践発表でした。テーマは『どうしよう？は、行動(どう)しよう！』。

二宮さんの発表で買かれていたのは、「できない」と言って諦めるのではなく、「どうすればできるか」を常に考え、前向きに行動する姿勢でした。コロナ禍という困難な状況下であっても、生徒たちのために何ができるかを模索し、実現させていくその行動力に強く感銘を受けました。

「やってみないと分からないことも多い」という言葉は、私たちの日々の生活や PTA 活動にも通じる真理です。私たち大人が、失敗を恐れずに挑戦し、一生懸命に頑張っている背中を見せることこそが、子どもたちに勇気と希望を与える一番の教育になるのだと改めて気付かされました。自分のことだけでなく、誰かのために汗を流し、行動できる大人。そんな姿を親が示すことで、子どもたちもまた「とにかく頑張ろう」「やってみよう」と前を向き、人に優しく共に歩むことができる素敵な大人へと成長してくれるのではないかと思います。

【パネルディスカッション：子どもの本音に向き合う】

本大会で一番印象に残っているのは、後半に行われたパネルディスカッションです。『父さん、母さんちょっとええかね？』というテーマのもと、呉地区の高校生たちが登壇し、本音のトークを繰り広げました。



進行役を務められたのは、広島 FM「大窪シゲキの9 ジラジ」でお馴染みの大窪シゲキさんと、タレントの森本久美子さんです。大窪さんの軽妙で温かいトークが、緊張している生徒たちの心を解きほぐし、各校の生徒会長をはじめとするパネリストたちの満面の笑顔と、飾らない「本音」を引き出していました。



普段、家庭ではなかなか聞くことのできない、高校生たちのリアルな悩みや親への想い、そして将来への希望。彼らの言葉一つひとつが胸に刺さり、また温かく響きました。「親は自分たちのことをこんな風に見ていてほしい」「こういう時はそっとしておいてほしい」といった生の声を聞くことができたのは、これからの子育てにおいて何よりの参考になりました。

日々の忙しさにかまけて、子どもとじっくり向き合う時間を疎かにしていないだろうか。会場で話を聞きながら、そんな自問自答をしました。家庭に帰ったら、まずは子どもの目を見て、しっかりと話をしよう。そして、彼らの言葉に耳を傾けようと、親としての姿勢を正す良い機会となりました。

【生徒たちの輝く姿と、呉のおもてなし】

本大会を彩ったのは、生徒たちによる素晴らしいアトラクションでした。



オープニングを飾った広島県立音戸高等学校による「音戸の舟唄」は、生徒たちの自信に満ちた表情と力強い歌声が会場全体を包み込み、伝統を受け継ぐ若者たちの頼もしさを感じました。

また、呉港高等学校ブラスバンド部による演奏は、生き生きとした表情と迫力あるサウンドで、聴衆を魅了しました。生



徒たちが一生懸命に音楽に取り組み、心一つにして奏でる姿からは、ひたむきな情熱とエネルギーが伝わってきました。どの生徒も、それぞれの場所で輝いており、その一生懸命な心を力強く感じることができました。



閉会后、お土産としていただいたのは、呉の秋祭りで親しまれている「いが餅」でした。呉地区PTAの皆様の「楽しんで帰ってほしい」という温

かい気持ちがかもっているようで、とても美味しくいただきました。

準備・運営にご尽力された呉地区高等学校 PTA 連合会の皆様、そして関係者の皆様に心より感謝申し上げます。本大会で得た学びと感動を、今後の自校での PTA 活動に活かし、子どもたちのために「楽しむ」活動を続けていきたいと思ひます。



(広島県立向原高等学校 福永 篤)

(調査広報委員 大前浩介)

全県一斉あいさつ運動ポスター入賞作品の御紹介

広島県高等学校PTA連合会では、5つの委員会(総務・研修・調査広報・健全育成・進路対策)が様々な活動を行っております。

その1つ、健全育成委員会では、平成23年度から「全県一斉あいさつ運動」の事業を始め、今年で15回目を迎えました。

毎年11月1日を「全県一斉あいさつ運動」実施日とし(土日祝日の場合は翌日)、各校で、また各駅前などで実施をお願いしております。登校する児童・生徒への声掛けを早朝より実施いただくなど、各校の会員の皆様の多大な御協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

「全県一斉あいさつ運動」を周知いただくためのポスター募集も、例年どおり行い、健全育成委員会で厳正なる審査会を実施し選考いたしました。

応募総数141点の作品の中から、広島県立熊野高等学校 松下菜々美さんの作品が優秀賞に選ばれ、ポスターとなりました。11月4日の「全県一斉あいさつ運動」の前に各校へ配布し、掲示をお願いいたしました。たくさんの御応募をいただきありがとうございました。

受賞された生徒さんは次のとおりです。

〔優秀賞〕

広島県立熊野高等学校 1年 松下菜々美

〔佳作〕

広島県立広島国泰寺高等学校 2年 吉川 蒼来
広島県立高陽高等学校 2年 國村 心鈴
広島県立呉特別支援学校 高2年 堀江 康生

「通学・交通マナー」に関わる標語募集については、今年度から取りやめることとし、これに替わる事業を検討していきます。

(県高P連事務局)



広島県高等学校PTA連合会

高校生総合保障制度

この制度の特徴

〈高校生総合保障制度は、団体総合生活保険のペットネームです。〉

1. 団体割引25%適用・損害率による割引5%適用（天災危険補償特約保険料には損害率による割引を適用しません。）
2. 病気・けが・賠償事故・携行品等を補償（病気はW3、W2、W1のみ）
3. 国内外を問わず24時間のけが・病気等を補償
○携行品（学校管理下動産補償特約）の補償は学校管理下中のみです。
4. 「メディカルアシスト」で24時間・365日無料で各種医療に関してご相談いただけます。
※詳細はパンフレットをご確認ください。
※補償期間（保険期間）は1年となります。（令和7年4月25日午後4時より令和8年4月25日午後4時まで1年間）
※中途加入は補償期間が異なります。詳しくは取扱代理店までお問合せください。
※スマホ・PCから簡単に加入申込みができます。パンフレット記載の二次元コード及びURLをご確認ください。

〈保険金額と掛金（保険料）〉

補償内容		W3タイプ	W2タイプ	W1タイプ	Aタイプ	Bタイプ
傷害	死亡・後遺障害	364万円	299万円	250万円	224万円	152万円
	入院保険金日額	4,200円	3,900円	3,300円	2,800円	2,200円
	通院保険金日額	2,500円	2,500円	1,800円	1,700円	900円
育英費用		200万円	150万円	100万円	100万円	50万円
入院医療 日額（*）		4,200円	3,900円	3,300円	×	×
天災補償 （地震・雷・突如用）		○	×	×	×	×
細菌性食中毒		○	○	○	○	○
熱中症		○	○	○	○	○
個人賠償責任 記録情報限度額 500万円 （個人賠償特約の一部変更特約）		国内1 事故無制限・国外1 事故1 億円限度		国内1 事故1 億5 千万円限度・国外1 事故1 億円限度		国内・国外ともに 1 事故1 億円限度
弁護士費用特約（人格権侵害等） トラブル対策費用補償特約				国内示談交渉サービス付 1 事故あたり300 万円限度 1 事故あたり20 万円限度		
携行品	学校管理下動産補償特約 携行品特約の一部変更特約 保険対象または受託品範囲変更特約	1 年間で20 万円限度 （免責金額（自己負担額）1 事故3,000 円）		1 年間で10 万円限度 （免責金額（自己負担額）1 事故3,000 円）		
	被害事故補償	1 事故 3,000 万円	1 事故 2,000 万円	1 事故 1,000 万円	×	
保険料		16,650円	14,650円	11,650円	9,650円	6,650円
制度維持費		350円				
掛金（1 年分）		17,000円	15,000円	12,000円	10,000円	7,000円

※各補償内容ごとに、保険金をお支払いしない場合等注意点ががあります。詳しくは申込時に「補償の説明」をご確認ください。

※上記保険料は職種別Aの方を対象としたものです。お子様（被保険者一保険の対象となる方）が継続的にアルバイトに従事している等で、職種別Aに該当しない場合は、保険料が異なりますので、取扱代理店にお問い合わせください。

*入院医療 日額について：この契約が継続されてきた最初の保険契約（初年度契約といいます。）の保険始期時点で、既に被っている病気については保険金をお支払いできません。ただし、初年度契約の保険金始期時点で、既に被っている病気についても、初年度契約の保険始期から1年（保健機関が1年を超えるご契約の場合は、2年となります。）を経過した後に保険金支払事由に該当したときは、保険金のお支払対象になります。

このご案内は団体総合生活保険の概要についてご紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、手続きサイト内に掲載の「重要事項説明書」を必ずよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

〈お問合せ先〉取扱代理店 ㈱東京海上日動パートナーズ中国四国本店 TEL:0120-018-217 令和7年3月作成 <25TC-000341>

〈引受幹事保険会社〉



東京海上日動

（担当支社） 広島支店 広島支社
広島市中区八丁堀3-33 広島ビジネスタワー
TEL 082-511-9194

パンフレット・重要事項説明書は上記お問合せ先にご請求下さい。

〈共同引受保険会社〉



AIG 損保

AIG損害保険株式会社 広島支店
広島市中区基町12-6 AIG 広島ビル
TEL 082-535-6010

この保険契約は、上記の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険株式会社が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。

〈引受保険会社〉 東京海上日動火災保険株式会社（幹事保険会社） AIG損害保険株式会社